福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日
　　平成３０年　６月２２日（金）

２　確認箇所
　・５・６号機淡水化装置
　・免震重要棟遠隔操作室

３　確認項目
　（１）５・６号機淡水化装置逆浸透モジュールからの漏えい状況
　（２）２号機原子炉建屋開口部設置後の状況

４　確認結果の概要
（１）５・６号機淡水化装置逆浸透モジュールからの漏えい状況について
　本日（６月２２日）発生した淡水化装置逆浸透モジュール２Ｂの閉止板近傍からの漏えい発生現場を確認した。
　漏えいが発生した箇所については４月２４日に発生した逆浸透モジュール２Ａからの漏えい事象を受け、あらかじめ袋養生が行われていたため、漏えいした水は全て袋内にとどまっており、床面への滴下は無かった。
　東京電力では、今後原因調査をしていくとのことであった。

（２）２号機原子炉建屋開口部設置後の状況について

６月２１日に２号機原子炉建屋の開口部の設置が完了したことから免震重要棟遠隔操作室で状況を確認した。

・全２９ブロックの壁が撤去され、確認時はガレキ類の片付けが行われていた。

・片付け前に放射性物質飛散防止のために散水が行われ、ガレキ類は遠隔重機を用いて、搬出用コンテナに詰める作業が行われていた（写真１）。

（写真１－１）

・散水後のため床面は濡れていた。

（写真１－２）

コンテナにガレキ類を詰めている様子

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。